


令和4年度 基本評価調書①		所管部局	経済部	所管課	雇用労政課		
施策名	多様な人材の就業促進			施策コード	0519		
政策体系(中項目)	良質で安定的な雇用の場づくりと産業人材の育成・確保			政策体系コード	2(7)B		
関連重点戦略計画等	知事公約、創生総合戦略					事務事業数	4
SDGs				総合判定	順調		
予算額(千円)	R 4	270,678	R 3	303,202	R 2	292,254	

施策目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ニート・フリーターをはじめ、様々な状況におかれた若者、多様なライフサイクルの中で継続就業や復職を希望する子育て中の女性など、多様な人材の就業促進、職場定着を図るため、雇用機会の拡大とミスマッチの解消を図る。 ・季節労働者の通年雇用化を促進し、雇用の安定を図る。 	
現状と課題	<p>卒業後3年以内の離職率は全国を上回って推移。大卒者等の道内就職率は低下傾向。また、女性や中高年者の就業率は上昇傾向にあるが、無職者の中には、再就職への不安を持つ者が多いこともあり、全国を下回って推移。季節労働者数は、年々減少しているが、その多くは冬期間に就業機会を失うなど不安定な就業環境に置かれている。</p>	
前年度二次評価意見		対応状況(R4.3時点)

	今年度の取組	実績と成果
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ジョブカフェや北海道就業サポートセンターによる支援〔電話及びオンラインを活用した、一人ひとりのニーズに応じたきめ細かなカウンセリング、オンラインセミナー等を実施。(ホ・ストコト)〕 ・ジョブカフェ・ジョブサロンにおける相談支援、地域若者サポートステーション等との連携 ・季節労働者の雇用確保や就職促進などを通じた通年雇用化に取り組んでいる通年雇用促進協議会の組織運営体制の強化を図るなど、国や地域との連携を密にし、季節労働者の通年雇用化を促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ジョブカフェ利用者延べ数 (ホ・ストコト) R1:29,530名 R2:22,489名 R3:23,074名 ・ジョブサロン利用者延べ数 (ホ・ストコト) R1:7,073名 R2:5,939名 R3:7,545名 ・みらいっぽ(若年者支援施設の一体的実施事業)による就職者数 R1:364名 R2:293名 R3:380名 ・通年雇用促進協議会における地域独自の取組に対する支援のほか、当該協議会が実施する季節労働者資格取得促進事業への支援、冬期増経費を措置 通年雇用化数実績 R2:3,650名、R1:3,725名、H30:3,867名

連携状況	<p>道、北海道労働局、高齢・障害・求職者雇用支援機構の三者で締結した「北海道労働政策協定」に基づき、「ジョブカフェ北海道」と「札幌わかものハローワーク」、「札幌新卒応援ハローワーク」による若年者に対する支援、「ジョブサロン北海道」の地方拠点と地元のハローワークによる支援等を一体的に行い、若年者の就職内定者数の増加(R2:5,311人→R3:6,684人)等を図ることができた。</p>
緊急性優先性	<p>道内の雇用情勢は、月間有効求職者数が24ヶ月連続で前年同期を上回るなど、求職者が依然として高水準にあり、弱さが見られることから、求職者に対するきめ細やかなカウンセリングなどを通じて、本人の能力や適性に合った職種へ誘導するとともに、企業に対する個別の人材確保・職場定着支援を行っている。</p> <p>また、就業が容易ではない若年無業者の自立化や就職氷河期世代の安定就労に取り組む「地域若者サポートステーション」に対する支援の拡充等について、国に要望している。</p>

令和4年度 基本評価調書②	施策名	多様な人材の就業促進	施策コード	0519
---------------	-----	------------	-------	------

〈成果指標の達成状況〉 ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	増加	人	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
ジョブカフェ北海道での若年者の就職内定者数	目標値		6,380	6,380	6,380	63,800	104.8%	A
	実績値		6,170	5,311	6,684			

設定理由	ジョブカフェ北海道に登録し、就職支援サービスを受けて就職が内定した人数の累計（H28～R7）
------	--

分析（主な取組と成果）

ジョブカフェ北海道において、カウンセリング、セミナー及び合同企業説明会等の支援を実施。R3年度は新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、若年者のジョブカフェ利用者数が回復・増加した結果、実績が向上し目標が達成されたと考えられる。
（参考）これまでの実績値累計（H28～R3）：37,349人 進捗率：58.5%

指標名②	増加	人	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
ジョブサロン北海道での中高年齢者等の就職者数	目標値		540	540	540	5,400	141.7%	A
	実績値		330	498	765			

設定理由	ジョブサロン北海道に登録し、就職支援サービスを受けて就職した人数の累計（H28～R7）
------	---

分析（主な取組と成果）

ジョブサロン北海道において、カウンセリング、セミナー及び合同企業説明会等の支援を実施。R3年度は新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、中高年齢者のジョブサロン利用者数が増加した結果、実績が向上し目標を大幅に上回ったと考えられる。
（参考）これまでの実績値累計（H28～R3）：3,256人 進捗率：60.3%

指標名③	増加	%	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
若者（25～29歳）の就業率（暦年）	目標値		—	84.9	85.1	85.7	97.4%	B
	実績値		—	83.0	82.9			

設定理由	25～29歳の若年者のうち、仕事に就いている人の割合
------	----------------------------

分析（主な取組と成果）

ジョブカフェ北海道において、カウンセリング、セミナー及び合同企業説明会等の支援を実施したが、北海道における若者の就業状況は、新型コロナウイルス感染症の影響などにより引き続き厳しい状況にあり、目標未達となった。

【総合判定】

連携状況	○	緊急性 優先性	○	指標判定	A	総合判定	順調
------	---	------------	---	------	---	------	----

翌年度に向けた 対応方針	対応方針番号	内容
	①	新型コロナウイルス感染症の影響による北海道における若者の就業状況等に課題があることから、カウンセリング、セミナー及び合同企業説明会についてオンラインを活用するなどし、多様な人材の就業を促進。
	②	若者の就業率及び新規学卒者の道内就職割合が目標未達となったことから、引き続き若者（新規学卒者含む）をはじめ、就職氷河期世代や新型コロナウイルス感染症の影響により離職を余儀なくされた求職者等に対し支援を行う。
	③	

令和4年度 基本評価調書③	施策名	多様な人材の就業促進	施策コード	0519
---------------	-----	------------	-------	------

〈二次政策評価〉

R4年度 二次政策 評価	
--------------------	--

二次政策 評価への 対応			
R5 施策の 方向性	対応方針番号	方向性	関連する事務事業 (新規・拡充)
	①	ジョブカフェにおいて、カウンセリング、セミナー及び合同企業説明会についてオンラインを活用するなどし、多様な人材の就業を促進する。	
	②	若者の就業率及び新規学卒者の道内就職割合の改善に向け、ジョブカフェにおけるカウンセリング等の実施や多様な人材の安定就業促進事業において、就職氷河期世代を含む多様な求職者と道内企業のマッチングを支援する。	新規： ・就職氷河期世代就業支援促進事業費
	③		
R5新規事業数	1		

令和4年度 補助指標調書①	施策名	多様な人材の就業促進	施策コード	0519
---------------	-----	------------	-------	------

【成果指標の達成状況】

補助指標名①	増加	%	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標 (R6)	達成率	指標判定
新規学卒者（大学等）の道内就職割合		目標値	—	68.9	69.2	70.0	98.8%	B
		実績値	—	70.2	68.4			
設定理由	道内の大学、短期大学、高等専門学校、専修学校の新規学校卒業就職者の道内への就職割合							
分析（主な取組と成果）								
<p>ジョブカフェ北海道において、カウンセリング、セミナー及び合同企業説明会等の支援を実施し、就職率は93.9%と前年から0.1ポイント増加したが、道内就職者は減少（前年比728人減）、道外就職者は増加（前年比248人増）したため、目標は未達となった。</p>								

補助指標名②	増加	人	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標 (R5)	達成率	指標判定
季節労働者の通年雇用化数		目標値	4,000	4,000	3,500	14,000	104.3%	A
		実績値	3,867	3,725	3,650	—		
設定理由	季節労働者対策に関する取組方針（第6次）の取組期間の4年間（令和2年度から令和5年度）で14,000人として設定							
分析（主な取組と成果）								
<p>冬期間における雇用の場の確保、季節労働者の技能向上、事業主の意欲喚起等により計画を上回るペースで進捗している。</p>								

補助指標名③	増加	%	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標 (R6)	達成率	指標判定
男性（60～64歳）の就業率（暦年）		目標値	—	82.2	82.6	83.8	101.6%	A
		実績値	—	84.6	83.9			
設定理由	60～64歳の男性における、人口に対する就業者数の割合							
分析（主な取組と成果）								
<p>高齢者雇用安定法の改正等、全国的に高齢者が活躍できる環境整備が進められていることをはじめ、多様な人材の安定就業促進等により、計画を上回るペースで進捗している。</p>								

補助指標名④			R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 ()	達成率	指標判定
		目標値					—	—
		実績値						
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

令和4年度 事務事業評価調書	施策名	多様な人材の就業促進	施策コード	0519
-----------------------	-----	------------	-------	------

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	令和4年度						令和4年度			ACTION 結果への対応(令和5年度)		
						前年度からの繰越事業費(千円)	事業費(千円)	うち一般財源	執行体制			フルコスト(千円)	一次政策評価		二次政策評価意見	次年度方向性	二次評価意見への対応状況
									本庁	出先機関	人工計		対応方針番号	方向性			
0819	0522	一般	北海道就業支援センター事業費	若者や女性、中高年齢者の就業支援をワンストップで実施するほか、企業の人材確保や職業定着を支援するとともに、在職者向けカウンセリングを実施	雇用労政課	0	85,136	85,136	2.0	0.7	2.7	106,153	①	改善(取組分析)		改善	
0820		一般	多様な人材の安定就業促進事業	若年者や女性など多様な働き手の人手不足産業等への就業促進に向け、カウンセリングの実施、就業体験の提供、合同企業説明会の開催等を行う	雇用労政課	0	143,774	28,755	1.5	0.0	1.5	155,450	①	改善(取組分析)		改善	
0821		一般	季節労働者雇用対策費(季節労働者 通年雇用促進地域対策事業費)	国の通年雇用促進支援事業を受託する協議会における地域独自の取組に対する支援のほか、当該協議会が実施する季節労働者資格取得促進事業への支援、冬期増嵩経費の措置 ※冬期増嵩経費は他部計上	雇用労政課	0	32,058	32,058	2.0	2.4	4.4	66,308					
0824		一般	地域就職氷河期世代支援加速化補助金	市町村が取り組む就職氷河期世代への支援事業に要する経費の一部を予算の範囲内において補助	雇用労政課	0	9,710	0	0.0	0.0	0.0	9,710	②	改善(取組分析)		終了	
計						0	270,678	145,949	5.5	3.1	8.6						

